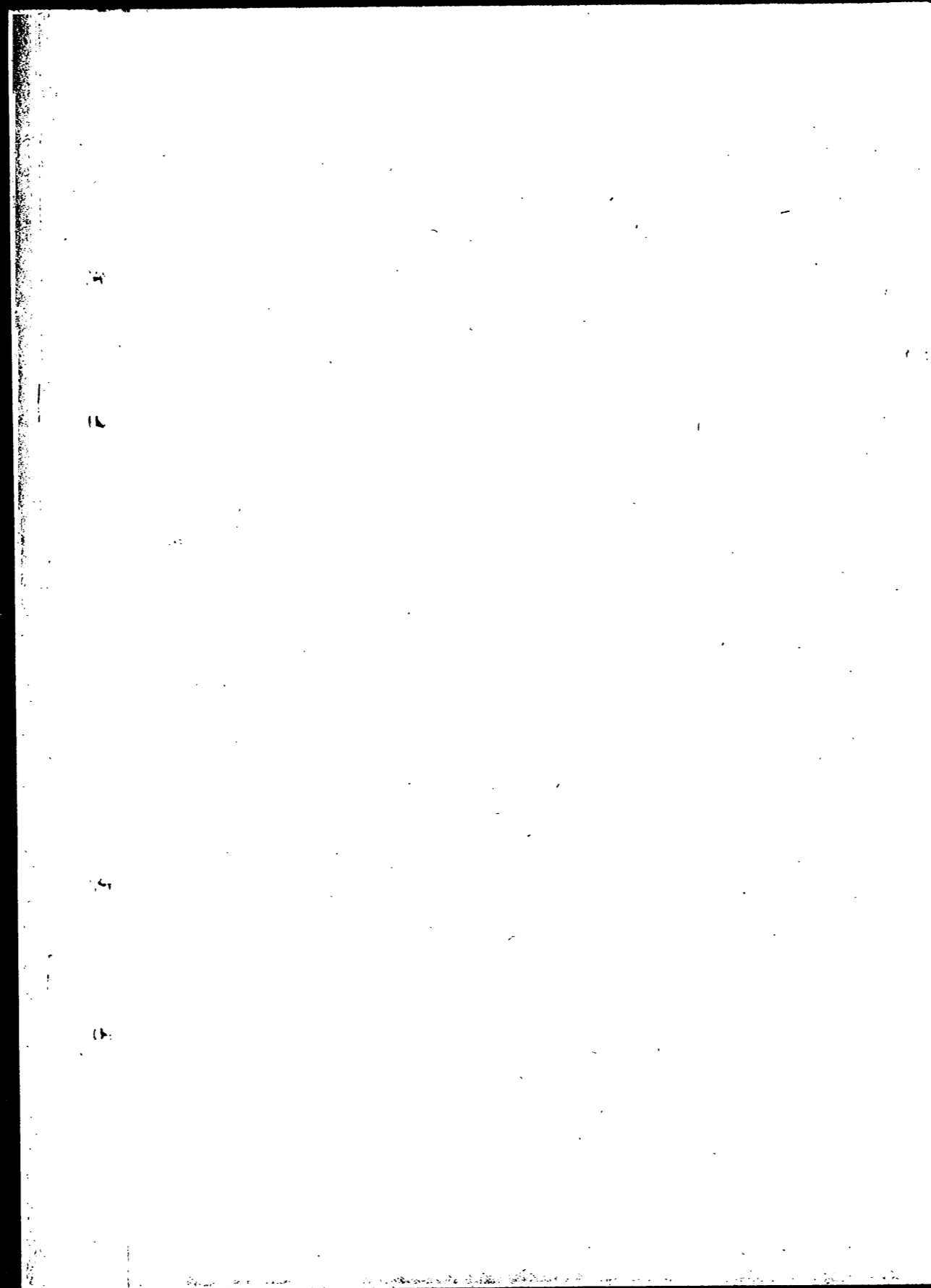


1
2
3
4
5
6
7
8
9
0

国立公文書館	
分類	③ ④
配架番号	3 A
	14
	6-8



SHIPPING ADVICE# 10097
SACK # 18
ITEM # 109

418001-27

昭和十七年八月

交換船フシテベルテ舞歸来者ノ手記

外事課

裏面白紙

MICROFILM

Pages 1-17

Order of: _____

One p. per exp.

Double p. per exp.

Number of parts _____

This part no. is _____

Searcher _____

Return book to:

_____ Div.

中支那振興
政府出資財産
目録

LC 25-5 (9/53)

SHIPPING ADVICE #
SACK #
ITEM #

10097

418001-27

交換船コンテベルテ號歸來者ノ手記

昭和十七年八月

外事課

裏面白紙

41-7

30p

SHIPPING ADVICE#
SACK #
ITEM #

10097

418001-27

交換船コンラベルヲ歸來者ノ手記

昭和十七年八月

外事課

裏面白紙

41-3 8p.

SHIPPING ADVICE# 10697
SACK # 18
ITEM # 169

418001-27

交換船コンテベルテ舞歸末者ノ手記

昭和十七年八月

外事課

LC 80-20 (11/66)

arc

裏面白紙

41-3

41-8 27p

SHIPPING ADVICE# 10097
SACK # 189
ITEM # 189

418001-27

昭和十七年八月

交換船コンラベルヲ辨録末者ノ手記

外事課

LC 80-20 (11/66)

LC 80-20 (11/66)

GPO

裏面白紙

418002

手記者

交換船コンテベルテ歸郷兼指ノ手記

(巴奈馬部隊ノ旅行過程)ニ関スル件

本籍 横浜市鶴見區生麦町一三九番地

行先地 全市中區本牧三、番一三番地

外國ニ於ケル住所 パナマ共和国 パナマ市

元フスタリカ共和国 プレタレーナス港

太平洋漁業会社々長

天野 芳 太郎

明治三十一年七月二日生

右指日小交換船コンテベルテ歸郷ニテ帰國ノ途次別冊ノ如キ手記ヲ記録シ居リタルヲ以テ参考ノ爲

外事課員ニ於テ筆寫セラルナリ

裏面白紙

パナマニ在留セル同胞ノ大部分ハ昭和十六年二月
七日午後三時半ヨリヤ跡迄ノ間ニテヨリスノ新監
獄ニ又ブロンノ同胞ハ同市警察ノ留置場ニ収容セ
ラル。カビー及國內外各地ニ散在セル同胞モ殆ト同時
刻ニ拘引セラレタリ

(一) 翌八日午後二時十五分パナマ在留同胞ハチヨリスノ監
獄ヲ出サレバルボアノ検疫場構内ニ急送セラレタル
ママンポニ移サレアメリカ陸軍ノ管轄下ニ置カル
同日ブロンノ男女同胞悉ク来リ会ス。茲テ九日カビー
ヨリ軍用飛行機ニテ三名ヲ日ニハオ一回ノ檢察ニ洩レ
タルパナマ市ノ同胞三名、ケリマ州ヨリ一カトリエン州ヨリ
二カ送ラレ来リ。茲ニママンポ内ノ同胞ハ男ノ四名

名セ七四名トナレリ。次ニ隣國フスタリカノ同胞ニ三名
ハ二月七日午後五時半プンタレーヤスノ監獄ニ投セラレ
同夜九時半護送列車ヲ首府サンホセ市ハ然シテ
深夜零時半ヲ過ギテ同市監獄ニ収容セララル
此処ニ居ルフト六日間一人ノ同胞アメリカノ漁船ヨリ
拉致セラレ之ニ切ハル。二月十三日午後三時中ニ四名
ハ飛行機ニテ再びプンタレーヤスニ至リ港内ニテアメリカ
軍艦ニリ工脚ニ移乗セラル。コレヨリ若艦内ニハ
既ニセカノ同胞監禁ガレ居タリ。此人々ハアメリカ漁船
アルカート號ノ乗組員ナリ。エリ工脚ハ十三日夕刻出港
五日間洋上ヲ巡航シ漁船ニボーイ號ヨリ松島ト

裏面白紙

シエールアン市ニ遊シ河心ニ停マル

(四) 九日午前八時河心ヨリ岸陸ニ着ク十時頃ヨリ独伊人
婦人子供、独伊人男子、日本人婦人子供、日本人男子ノ順
ニテ上リ、閉鎖ハ我々ハ午後一時ニ至リ、機関構内ニ
横ハル列車ニ追込マレ九時過ぎガ新クニミテ発車ス
ハ荒々タル平原ヲ疾走シ、アリ午後四時半、オウ
ラホマ州ニオトセルル軍隊身屈ノ停留場ニ到着ス、直
ニトランクニ分来ニ哩ノ距離ニアルキヤンプニ収容セラレタリ
時ニ午九時六時ナリ、此処ニテ始メテ我々ハ独伊人ハ勿論
同胞婦セオトモ引離サレタルヲ知ル

(五) キヤンプニ既ニ我々ヨリ一日前到着セルハワイノ同胞
ノスル名アリ、二日ニシテ更ニ米本土ミヅラヨリ三五ニ
名来タル版ヲ同胞合計セ。五名トナル、但ニ幾何モイク
同所ニシテ、我々ヨリ出セリ、一名ハパナマノ大地帯ナリ

此処ノ生活五十日ニシテ一同ニ又々出發命令アリ五月
二十八日午前九時半總負セ。二名ハ徒歩ニテキヤンプヲ
出發ス、十時半停車場着、十一時半發車ス、汽車ハ南下
シ翌午前十一時松林ニ圍マレタルルイジアナ州ルビニグス
ン州駅ニ到着ス、此処ニテモ武装セル兵士ニ前後ヲ護
ラレニ哩四分ノ一ヲ徒走シテ収容所ニ着ス、我々ハ組
ヲ二分セラレ、丁及Kノ相隣レルニワノ地域ニ移ル、翌日
發着ノ結果米本土組ハKニ、ハワイパナマ組ハ合シテ丁
ニ入レ替ル兩者共木造バラコウ建ナリ

(六) 六月四日突如米本土組ヨリ一名ハワイ組ヨリ一名パナマ

組ヨリ高島一名計ニシ名ニ即時ニエーヨークニ向フベシト
 ノ命令アリ 交換船グリッパスホルム號ニ乗船ヲ許サレタ
 一人ヲナリ 中ニ固ノ保護命令ハ 飯田以下一三名ノパナマ
 組ニアリ ナシリキ後ニエーヨークニ向フ 中ニ固モ又パナマ
 組ニテ 中ニ固ノ命分アリ 四日午後四時出港ヲ
 許サレ シムンス ト云フ停車場ヨリ 五時四十五分ノ列車ニ
 移乗セシメケレ 將校一名兵一名我等ト同行護送ノ任
 ニ当ル 四十時間ノ後 十六日朝ニエーヨーク着 午前十時半
 ペンシルバニアホテルニ 監禁セラル

(七) ニエーオルシアンズニテ別レタパナマ婦人部隊一行ハ 四日
 十日午前九時頃 テキサス州エーグビルニ到着ス 此処ハ
 亦婦人感化院ノ建物ニテパナマ部隊ノ到着後更ニ

※本上ノ同胞婦人ニシ名如ナリ 共同生活ヲイヌ 収容期間
 中パナマ組ニ男子一名女生一〇六名トナル 六月九日午後
 一時パナマ組婦女子七三名及他ノ日本婦人一名ニ出立ヲ
 命ゼラル 一行ハダラス駅迄ニ時間余リバヌニ載セラレ同
 駅ヨリ汽車ニテニエーヨークニ送ラル ペンシルバニアホテルニ
 入りシハ 六月十日午前十時ナリ

(八) 同ホテル内ニテパナマ組中 夫婦家族同棲ニ得タルハ一〇
 組ナリ 婦女子ノミニテ 夫ノ来タラザリシ者一六組 單
 身者ハ八名ナリ 六月十八日午後零時半 之等單身者ハ
 名ハホテル内ニ花リシ米本上ノ同胞ニ〇名ト共ニバヌニテ
 埠頭ニ送ラレニ時間ノ後小汽艇ニテグリッパスホルム號ニ
 乗乗セシメラル 又一〇組ノ家族ト一六組ノ婦女子ハ之

裏面白紙

ヨリ一時間余リ遅レ同様ノ道程ニテ到着ス
パナマ部隊ノ動靜ヲ要約スレバ

一ケリワパスホルム蹄ニ乗船セルモノ九一名

(パナマ婦人一名、同婦人ノ子供四名ヲ含ム)

一リビングストンニ殘レル男子 一六五名

(一六六名中大地君死セシ依リ一名減)

一モトグビルニ殘レル婦人七名 一三三名

(中五名ハ日本人ト結婚セルヨナマ婦人ノ家族)

(一) パナマノ於テ

我々同胞ノ多クハ逮捕サレルニ當リ一分間ノ猶豫ナク又

何等身過品ノ持参セ許サレナカツタ 甚ニキニ至ワテハ

通行中ノ路上、或ヒハ訪問先等ヨリ引立ラレ着ノミ

着ノ怪ノ状態デアツタ 此ノパナマ官憲ノ所置ハ其ノ

後暫時我々ヲ苦シメタ 即パルボアニ移サレテカラ一放

ノ着替ヘスラナク垢染バ垢染タ依 雨ニ濡レバ濡レタ依

ノ衣服ヲ着 靴ガ破レ、バ裸足デ歩カサカケレバナラナ

カツタ 又顔ヲ洗フニ手拭ガナク 齒ヲ磨クニ齒刷牙

ガナク不便ナ事一通デナカツタ パナマノ官憲ガ姓メニサ

デモ身過品ノ持参ヲ許シテ呉タラ斯クモ苦シマナカ

ツタデアラウ 我々男子ハ我慢モ出来タガ婦人が着ノ

ミ着ノ儘デ洗濯スルコトモ出来ナカツタコトハドンナニ苦

痛デアツタカ想像ノ外デアル 特ニ子供ヲ持ツタ婦人ハ

苦レカワタコト、思フ

裏面白紙

扱投獄サレタチヨリスノ監獄デアルが災シレドカッタ
 寢台ハ鉄ノ柵ダケデ金網カ張ツテナイ。フシクリートノ
 床ノ上ニゴロ寝シナケレバナラナカッタ。然モ不潔デ南京
 虫ガ出テ閉ロシタ。但シ監獄デアルカラ己ムヲ得ナイト
 シテ不都合ナノハ全然食事ヲ呉レナイ事デアッタ
 一此ノパンハ愚カ一杯ノオ湯スヲ出サナイ。我々ハ完全
 ニ二十四時間余リ絶食セシメラレタ

(三) バルボアニ於テ

バルボアニ於テハ我々ヲ市民トシテ取扱ズニ軍事上ノ
 捕虜トシテ取扱ハレタ。将校ガキヤンブ内ニ這入ワテ
 未ル時ハピストルヲ携帯シ兵士ハ銃ニ着剣シテ入
 ワテ来タ。始メ我々ハ天幕ヲ張ツテ草原ノ上ニキヤンブ

ノ寢台ヲ作ツテ寝タ。之ハ彼等ニ收容ノ準備ガ無カッ
 タカラデ故意ニマツタノデハチカツタケレド監禁ノ翌
 日カラ猛烈ナ強制労働ヲ課セラレタ。雨ガ降ワテモ風
 ガ吹イテモ又日曜デモ遠慮ナク使ハレタ。使フノガ
 兵隊デアルカラ好イ兵隊ニ当レバ比較的楽ヲシタガ
 悪イ兵隊ニ当ワタ人ハ酷イ目ニ逢ツタ。労働ノ主ナルモ
 ノハキヤンブヲ建テル為ノ大工仕事デアッタ。木枿ヲ運ン
 ダリ。鋸デ切ツタリ。釘ヲ打ツタリ。座板ヤ腰板ヲ張ツタ
 リノ仕事デアッタ。之ハ中々ノ大仕事デ我々日本人
 許リデナク四五百人モ收容サレタ。独伊人ノキヤンブ
 製作ノ方マデ手傳ハサレタノデアッタ。然モ野天ノ仕事
 デアルカラ雨ノ時ハグワシヨリ濡レタ。濡レバ幾ラ熱帯

デモ寒イノデ風邪ニ患ル者が多カッタ 地面ハ泥ダラ
ケテ良クシッタ 怪我人モ相当出タ 晴天ノ時ハ猶苦
シカッタ 炎天ニ焼付ケラレテ身体が火ブクレノ様ニナル
事ガアッタ

然シ我々ノ最モ苦痛デアッタノハ仕事ヤ天候デアナカ
ッタ 命令ニ悪意ヤ敵意ノアル場合ニ於テ受ル感
情的ナ衝動デアッタ 忘レモシヤイナ月十八日ノ事デア
アッタ 此ノ日ハ午前ト午後ニ度ニ亘ワテ激シイ労働
ヲ課セラレタ ソレハスコワプト 鷓鴣ヲ以テエヲ堀リ
之ヲ運ニテ元便所デアッタ 穴ヲ埋メル仕事デアッタ
多勢ノ兵隊ガソレヲ火ノ付ク様ニセキ立テル 汗ハダク
ダク流レ 額ノ汗ハ眼ニ入り 眼鏡ノヒニ落テ何モ見

(9)

エナクナル ハンケケヲ出シテ拭ハウトスルヤ否ヤ 何
ヲスルカツ 働ケレト叱ルノ聲ト共ニ鉄匙ガ飛ンダ
ピシマリツト撲ラレル 絶体ニ腰ヲ延バス事ガ許サレ
ナイノデ腰ガ抜ル様ニ痛イソコデ瞬間ヲ盗ンダ一サ
腰ヲ延ストイキナリ靴デ蹴飛バサレル ソノ痛ミハ火ニ
夕事ハナイガ 悔辱感ノ急ニ身体中ノ血ガ逆流スル様ニ感
ジ夢中デアアル 隣ノモノガナニヲシテ中ルカ又自分ガ何ヲ
シテ中ルノカ判ラナク ソレガ滯ムト糞便ノ付イタ板
ヲ擔ガサレトラワクニ積込マサレタ ソノ積ミガ悪イ
ト云ワテ一人ノ兵ハ私ノ胸倉ヲ取ツテ泥ノ中ヲ小突キ
廻ハシタ 丁度此時雨ガ降ツテ末テ食事ノ合圖ガ鳴
ツタ 然シ我々ノ組ハ許サレナカッタ ソノ雨ノ中ヲ構内ノ

石ヲ拾ヘト云フノデアアル。此石拾ヒハ何モ意味ヲヤナシ
 ナイ仕事デ單ニ我々ヲ困ラサウトスル目的ヲ持ツニ
 過ヤケカツタ石ハ半バ地ニ埋マツテ居ルソレヲ手デ起サウ
 トシテモ中々起ナク兵隊ハソレヲガミク云ヒ乍ラ早
 クヤレト云フ拾ワタ石ハドシブロスノ袋ニ入レル石が溜ル
 カラ重クナルソレヲ地面ニ引摺ツテハイケナイト矢釜シク
 怒鳴リ立テル漸クノ事デソレが濟ンダ皆ハモウ夕食ヲ
 終ツテ居ル然シ未ダ何か云付ク様トシテ「オ前等ハ
 ソコニ並ンデ立ワテ居ロト云フ丁度此時一人ノ軍曹
 がオ前等ハ何ヲシテ居ルノカ今日ハ仕事ガ濟シダ帰ッ
 テ宜敷イト云ツテ呉レタ我々ハソノ聲ヲ聞クト脱
 兎ノ如ク逃出セタ然シソノ晩ハ飯ガ喰ヘナカツタ

飯ハ未ダ有ツタ様だが疲レ切ワテ終ツテ食然モ何モ
 無カツタ我々ハ夜ニナツテ電燈ノ無い暗イ天幕ノ中
 デ次ノ様ナ事ヲ話シタ此様ナ過酷ナ待遇ヲ受ケル
 様デハ遠カラズ皆覺レテ終フダラウ坐キテ到底此處
 ヲ出ルコトハ難カシイダが何トカシテコノ事ヲ公使館
 ニ知ラセル事ハ出来ナイモノカシラレソノ後天幕ノ仕事
 モ一段落付イテ他ニスル仕事モナクナツタが兵隊ノ
 持ツ悪意ハ衰ラナカツタ或時地面ニ溜ワテ居ル泥
 ラ手デ掘ツテコレヲトラワクニ積メト云フ命令ヲ受
 ケタコノ仕事ハ十八日ニ較ベタラ樂ナ仕事デアツタが
 侮辱ノ目的ハ達セラレタ我々が泥マミレニナツテ居ルノ
 ヲ彼等ハ嘲笑シ乍ラ見テ居タ

裏面白紙

他ノ仕事ニ出サレタ者ノ中デハ池尻ト云フ青年ガ酷
 イ目ニ逢ツタ 彼ハパナマノパスデナアコンタリート工
 ニ使ハレタガ余リ激シクセキ立テラレタノデ驚レサウ
 ニナツタ 彼ハソノ時モ兵ニ撲ラレタ
 然シ我々全部ガ此様ナ虐待ヲ受ケタノデハナイ 一部ノ
 不運ナ者ガ受ケタ迫害デアル 又兵ノ中ニモ親切ナノ
 ガ居テ我々ヲ敵國人等ト云フ眼デ見ス 恰モ友人ノ様
 ニ扱ツタ人モアツタ 我々ニ少シデモ樂ヲサセテヤラウト
 努力シテ呉レタ人モアツタ 此様ナ兵ハ命令デ我々ヲ連れ
 テ行ツテモ人ノ居ナイ處デハ全然働カサナカッタ 斯ク云
 フ時ノ親切ハ身ニ沁ミア嬉シカッタ 我々ハ恨ハ何處迄
 モ銘記スルガ好意モ亦忘レルコトが出来ナイ

次ハ食事ノコトデアルガ 食事ノ時ハ三度々野天ニ行
 列ヲ作ル 此手ニアルミニウムノフライパンヲ 此手ニ回
 ジアルミニウムノ水呑ヲ持ツテ立ツノデアル 兩ノ日
 ナゾセメントノ紙袋ヲ冠リケラ裸足デ履番ヲ持ツ
 テ居ル時ハ我々がラ惜ナク 斯ク迄シテ生キテ居テケ
 レバナラヌカト反問シ度ケナル 食物ヲ貰フトソレニ
 兩水ガ掛リ 天幕ニ降り付ク迄ニハフライパンノ中ハ水ダ
 ラケニナル 其水ダケヲ傾ケテ流シ食物ダケヲ喰ベル
 時ノ氣持ハ恐ラクアノ生活ヲシタ者デナケレバ判ラナ
 イト思フ 然シコナテ感傷的ナコトヨリ 實際問題トシ
 テ皆ハ食物ノ量ノ不足ニ悩ンダノデアル 元氣ナ青年
 ニハソレガ特ニ辛カッタソノ爲ニ次ノコトヲスル様ニナツタ

食事ノ始マル三十分之前カラ行ツテ行列ノ先ノ方ニ立ツソシ
 テ貰ツタ食事ヲ大急ギテ七分通り喰ベ残リヲゴミ箱ニ
 捨テ食器ヲ洗ツテ又行列ノ中ニ入ルコレダケノ早業ヲス
 ル爲ニハ第一回分ヲユツクリ喰ベテ居ル暇ガナイ柔カイ
 物ダケヲ鞆呑ミニシテ堅イモノハ捨テ、シマハナケレバナテ
 ナイパン等ハ眞中ノ柔カイ部分ダケ喰ベ残リノ堅イ部
 分ハ捨テ、シマフ スルト後テ検査官ガ来テ。パンヲ無駄ニ
 スルト云ツテ。パンノ配給ヲ減ジル。少イ食物ガ猶少ナク
 ナルノテ益々パンガ捨テラレルト云フ奇現象ガ起ルニ
 至ツタ 食物ハ糧ノ問題ヲ別ニシテモ。實ニ粗糞デア
 ツタ殆ニド豆トシヤガ薯デ砂糖ガ不足デアコーヒー等
 飲ムコトガ出来ナカツタ 然レ一月ノ中旬頃カラ質ハソ

ノ低ダガ量ガ少ニ殖ヘタソノ頃カラ皆ハ空腹ヲ訴ヘナク
 ナツタ又初メノ間ハ天氣ノ好イ日ハ食事ヲ野天デ喰ベタ
 犬ノ様ニ遠ツクバツテマツテ居タ 後ニナツテ全食ノ三分一位
 ハ入レル天幕食堂ガ出来タノデ順ニ其中テ喰ベルコトガ出来
 タ 煙草ハ不自由シタ 初メノ二週間許リハ兵隊ニネダツ
 テタマニ貰フ一爪ノ煙草ヲ大切サウニ吸ツテ居タソノ中
 差入レガ許サレル様ニナリ又四日ニ一箱位配給ガアツテドウ
 ヤラ此問題ハ解消シタ 衣類ハ初メ着タ切リデ不自由ダ
 ツタガ労働者ノ配給ヲ受ケタリ差入レガアツテ不自由ガ
 ナクナツタ 新聞マ雑誌ハ許サレナカツタガ古雑誌ハ借リ
 テ讀ムコトガ出来タ 相撲ヲ取ル處ノ土俵ヲ作ル事ヲ許
 レタガ 相撲ハアメリカ人ニ見セル處ニマラサレル様ナ傾向シ

ナツテシマツタ又向フノ希望ニ依ソテ柔道モヤラシレタ
 機械体操モ作ラレタ 時々軍樂隊ガ来テ慰問演奏ヲマ
 ツテ呉レタサリ云フ場合ハ独伊ノ監禁者ト一緒ニヤル事
 ガ許サレタ 妻ノアル者ハ一週ニ一度面会ヲ許サレタ五分
 間位金網ヲ隔テ兵隊ノ監視ノ下ニ話ガ出来タ 又一
 相撲ノ時婦人マ子供ヲ招待シタ然シ子供ヲ抱ク事モ
 妻ト話スル事モ禁セラレタ 配給品ノ中デハ石鹸ヤ
 剃刀ノ及ハ余ル程貰ワタ 蚊帳ハ各自ニ配給サレ毎日ソレヲ張
 ル様申渡サレタソシテ夜中ニ突檢ヲシテ調ベタ 我々
 スル監視ハ嚴重ヲ極メタ 金網ヲ以テ四方ヲ圍ミ
 機關銃ヲ据エタ 門ト機關銃ノアル処ニハ歩哨ガ立ツタ
 突呼ハ毎日アリ其時ハ整列サセラレタ

所持品ノ検査及身体検査ハ三度アツタガ 三月末ノモ
 特ニ酷カツタ 一ツノ天幕ノ中ニ五大人宛ノ兵隊ガ這入ッ
 テ徹底的ナ検査ヲヤツタソノ時我々ハ便所ノ傍ニ集メラ
 レテソノ場所カラ勤ク事が出来ナカツタ 天幕ニ這入ツタ
 兵隊ハ枕ヲ破リ寝台ヲハスシネクタイヲ切ワタリ 石
 鹸ヲ割ツタリシテ調ベタ 其結果日記其他ノ書類ハ殆
 ンド全部取ラレ金ヲ隠シテ居タモノモ大部分發見サレ
 テシマツタ
 婦女子ノ方ハ非常ニ寛大ニ待遇サレタ 住ムニモ男子ト違
 ヒ以前ヨトクラブデアワタホ造家屋ガ給セラレ食物モ
 良カツタ 靴マ服モ貰ワタ 子供ニ至ル迄全部ニ行キ涉
 ツタ 婦女子ニ関スル限り批難スベキ處ガ無イ

但シ我々ハ此處ニ被尋ノ非人道行爲ヲ責メナケレバナ
 シ又事ガアルソレハ大池役治君ニ対スル取扱デアル
 大池君ハ舌痛ト云フ病氣ニ罹ツタ然シ軍医ハ之ニ対
 シテ何等ノ治療モ施サナイアレハ不治ノ病患ダト云
 ツテ藥モ呉レヌ氣休メニ病院ヘ連レテ行ツタガ何モ
 手当セズ四五日シテヤマンブニ帰シテヨコシタ本人ハ流
 動物ヲ要求シタガ應ジテ貰ヘナカツタソレテ衰弱シ切
 ツタ病人ヲ不自由極マル天幕生活ヲサシテ省ナカツタ
 我々ハセメテ家族ノ手ニ死ナシテマツテ呉レト懇願シタガ
 聞入レテ呉レナカツタ家族ノ人ハパナマ病院ニ病室迄
 取ツテ交渉シタガ望ハ叶ヘラレズ遂ニ彼ハ北米旅行ニ
 引立テラレタバルボアカラ北米オクラホマ迄ノ旅行
 ハ健康ナ者デモ可ナリ苦シイ旅行デアツタ瀕死ノ彼
 ニ取ツテ何シナニ苦シイ事デアツタラウニエールレアンス
 カラハ寢台スラ呉ヘズ座席ニ就カシタ彼ハ苦痛ニ耐ヘ
 兼テ「殺シテ呉レノク」ト呻ツテ居タフオートシルニ
 着イテカラモ假病舎ニ入レ放シテ何ノ手当モシナカツタ
 バルボアカラ出發ノ時当局ハ病人ヲアメリカニ連レテ行ク
 ノハ充分ナ手当ヲスル爲デアル設備ノ悪イバルボアニ
 彼ヲ置クニ忍ビナイト言明シタガ實際ハ斯ノ如クデア
 アツタ愈々死期迫ルト見テ四月三十日入院サシタガ
 翌五月一日死セタト通知ヲヨコシタパナマデ死ニタガ
 ツタ彼ヲワザシク北米迄連レテ行ツテ死ナセ妻子ニ
 臨終ノ看護ヲシテ貰ヒ度カツタデアラウ彼ヲ一人淋シ

ノ進カセ然モ死後訪レル事モ出来ナキ異境ノ土ニ化セ
シメタ。アメリカ人ノ冷酷ヲ遣方ハ痛憤禁ズ得ナイノデ
アル然カモ賜殺シニサレタノデアル

元ハ度ワラバルボアニ於ケル私ニ対スル差別待遇ノ間
題デアル第一面会ノ事デアルガパナマ在留同胞全部
ニ面会ヲ許シテラ私ニハ絶体ニ誰ガ来テモ会ハセナ
カツタ。手紙ハ一通モ渡シテ貰ヘナカツタ。訊問ノ時ハ
收容所長憲兵大尉シブレーガ少尉及下士ニ名ト通譯
ヲ同伴シテ行ツタ。將校ガ交替スル毎ニ私ノ顔ヲ覺エ
テセテ特別敷田ニ置ツテ寫眞ト活動寫眞ヲ撮ツタ
身体検査ノ時ハ係官ハ私ノ眼ノ前デ特ニ此男ハ嚴重
ニセヨト云ツタ。所持品ノ検査ノ場合ハ峻烈ヲ極メ多ク

ノモノハ没収セラレタソレハ勿論金高ノ問題デナイ

例ヘバ刺繍ノアルハンケチガアレバソレガ何等カノ意味

アリト見テ没収スルト云ツタ類デアル然シ此様ナコト

ヨリモ労働ノ時特ニ嚴シク使ヘト云フ命令ノ方が違カ

ニ私ヲ苦シメタ。例ノ十二月十八日ノ労働ノ時一人ノ少

尉ガ兵ニ此男ヲ出秉ルダケ熱シク使ヘト命ジタド

コト事ヲシテモ構ハヌト附地ヘタ命令サレタ兵ハ私ヲ

突飛バシテク労働ノ仲間ヘ押込シタ(証人大尉)既

ツタリ撲ツタリシタノハ当然デアル便所ノ板片付ケノ

時ハ私ノヤル時ニ他ノ者ニハ手傳ハセナカツタ。石邊ビノ

時ハ袋ノ一カノ端ニ私ダケヲマリ他ノ端ハニ三人デ持

タセタ。私が重サニ耐ヘ兼ネテソレヲ地面ニ曳キスルト

後オカラ突カレタリ蹴ラレタリシタ此様ニ全テノ事デ
 眼ノ仇ノ様ニサレタノデ此皆ガ私ヲ病院ノ掃除ノ方ニ
 廻ツタラドウカト勸メテ呉レタソノ仕事ハ便所マ洗面所
 フ掃除シ硝子ヲ拭ヒタリスルコトデ別ニ骨ノ折レル仕
 事デハナカツタソコデ私ハ飯田山田森田ノ三名ト共
 ニ病院へ行ツタ半日仕事ヲシタ時憲兵軍曹ガ来タ
 ソシテ怒聲ヲ發シテ「貴様ハ此處へ来テ我々ノ眼ヲ眩
 マサウトシテ居タノカ此ピストルが見エヌカ」ト云ツテピス
 トルヲパケパケ叩キ乍ラ怒ツタソシテ早速私ヲ門ノ
 所カラキヤンプニ突入レ番兵ニ此奴ハ一番悪イ奴ダ
 此奴ノ爲ニ戦争ガ起キタノダ此奴ガ今後此門ニ近寄
 ツタラ撃ツテシマヒト命ジタ爾来私ノ名ハ門ノ所

一囚人番蹄ト共ニ搦ゲラレ一步モ出サレナカツタ
 ソシテ「オ前ハ病氣ニナツテモ此門ヲ通ツテ病院
 ニ行ク事ハ出来ナイ誰カニ頼シテ医者ヲ呼ビテ貰
 ヘ」ト云フ宣告ヲ受ケタソシテ彼等ハ永金ト云フ男
 ラシテ私ニ次ノ如ク云ハシメタ「此中ニ一人ノ指導者
 ガ居ルソレガ判ツタラ銃殺スルノダ」ト私ハ別ニ指導
 者デハナカツタガ或ハ先方ニサウ思ハレテ銃殺サレル
 カモ知レヌソノ時ハ立派ニ萬歳ヲ叫ビテ死ヌ覺悟ヲ決
 メタ又スペインノ公使館負カラ交換船ノ話ガアツタガソ
 レハ私ヲ除イタ人達ノ問題デアラウ私ダケハ除外サレ
 ルダラウト思ツテ居タ
 此處デ私ハ永金ト云フ人物ニ就テ語ラネバナラヌ

降り式に於ては、任命を以て然し彼ノ無誠
 意不公正並に同胞ノ爲に計りずしと軍に
 向し人とする態度著しきものありとしし
 各天幕よりノ代表者會議の結果彼ノ辭職
 勅告しアメリカノ第一世のM
 ン新リーダーと推し大
 ところが永金の曰く軍は總好私を辭め
 させ除いたと云つたを以て若しお前の命令
 を聞かば人間がたし何時に知しし
 水、劍附鉄槍を懸しと云つたと云つたと
 總し自今断じてリーダーと辭めたいと

云ふ事、事實彼はM商會のD君の正當なる
 後主御入る處と兵士を連れて來て私意を
 商徹し長尚彼はバレルがアを去つてアメリ
 カ本土に移せられたる時シブレ一憲兵大尉よ
 りアメリカに於て行つた此の男をリーダー
 とし、又つて賞ひたといふ云々紹介状を持
 参し、いかに永金は何の處に斯くアメリカ
 軍部に信用を得たや若しを非に正當なら
 ば、由ありば此の男を明かにする事は本人の
 爲に望まじし事とあり又衆人の抱かす
 べき誤解を解する上には是非必要なき
 と信ずる

裏面白紙

此の船の待遇は大して非難すべきでない
 といふ考へる婦人子供は例によつて一等客
 にも乗せてあるが中には生れ初めの人
 貨運船は船旅行を志すものと云つて感謝し
 ぬれぬ力ありあつたかくは夫は船旅の
 旅費は×××××の上口籍妻は一等の敷か
 歸途の×××××の白のシーツと敷のイぬると
 云ふアメリカ人の珍待遇を受けながら二
 エーオルランスに着いた此處からフォートシル
 の電車は日本の一等車程度で此の食事
 十分見物する事出来た及ぶは望の處
 かに待遇の豫期したる居つたが存外な
 思ひを感ずる

(四) フォートシルに於て
 フォートシルではまゝか大幕を引あはせ
 つた段を以て又大幕を引落し大幕を
 一日の幕八人締むのが今度五人はあ
 るといふあつた食事にはバルボアより
 鶏卵などと湯みたりは初めはバター牛乳
 大とこころかミゾラから米大人はこ
 御馳走は秋しる食へると云ふのが
 子ヤン止しは食望の生かす國益の
 益を食べ

裏面白紙

のか何人か人間金口扱はれは都て
 しつた然し煙草の配給が全然なかつた
 常々半信半疑のうちに買へたミゾラ
 う米七人々が自由と軍に頼んで買へるこ
 とを我々には一層辛さの滑り原田と名つ
 大森夕八は一隊隊は買ひに金を取り上
 げられ一隊隊は買ひに金を取り上
 こつたが軍に認められ金に代りた
 が出来たといふので初めは多少蓄へ
 長煙草のあつたが軍に認められ金に代りた
 ミゾラ部隊は少の身持がなればミゾラ
 隊有志が少の身持がなればミゾラ

初めはミゾラが何處に居るか判らな
 づい心配し漸くミゾラは行つた
 解つたが今度はずい出たので
 珍しくいふが今度はずい出たので
 此後には一般の兵隊は無かつた
 毎日は無かつた然し私に
 通はつたが私に筆端はミゾラ
 り十名名のカの呼が去る一日に
 即ち朝霧美峰と受けた然し其の美峰は
 村志しに少隊が去張して来た又私共

裏面白紙

為所の掃除はかには出られなかつた門の
 斤は此の掃除は公事なと書いたあつた
 其の他私は一慶にB一から出張して来た
 一人の男によつて特別訪問を行はれ此
 の事は全々マンプ内には一の例心あつた
 我等は村より監視はバルボアより中敷
 心あつた飲條の道に二重に張りめぐら
 せられた四の隙には高樓が設けられ
 上歩道が立ち晝夜間断なく見張つて
 彼等は鉄砲を持つた他は機関銃を据へ
 居るは歩哨が二三人立つてゐる

敵が退却して五九七は砲は照明燈の
 被り眼を断り、兵士の火を
 マンプに焼しかつた事は
 本末長兵又後藝會講演力催され斯
 分云ふことは非常の奇の榮を和かして
 煙草の煙、一掃又は一掃の
 頂へたの、一應事かつた

裏面白紙

但し我々とはフォトシル滞在中の人の同胞を

痛つたに口をたて言及せねばならぬ

第一の犠牲者ありハワイ部隊からの大島

君もあつた彼は突然撃たれてたつて見

え事一。鉄條網の壁を越した然し第一の

陣は忍び返しあつたので急いで出て来た

いかにあつたわりなく捕へることに出来た

この公あるをルと番兵がピストルを撃ち

たの公ある然かわ内創から皆を撃ち捕へ

る人の男は銃をからし舞ひ舞ひを撃ち

舞んでゐるのにやつて終つた矣は情の界

あつたあつたを流れたりんこの本場は

ある。第一の犠牲者はミゾラ組の千田君也

ある彼は監禁中軽度。精神病者にもなつた

病心あるか一度大島君。射撃を以て現場

場にはあつたか其の日から病勢激しく

し。終つた板つて別大島君に友人達から

い。移り看護されたかよくなつた

一週間の程してかから軍の病院に入れ

て話してゐるに途つたをせしむる

五月の十日彼は友人達と云ふ通

知。口接した我々には彼の体格の頑健なる事

418023

知つてゐるのて四月五日に死ぬとは思は
なかつた日本人の齋齋の死体を見せると
死因の疑念なきを得ない此の様はし
人の同胞を失つた葬儀の時は何れも
が鄭重に礼を盡しし又便宜を計つて
たが死んでから何をしたらつちつと
難いとは思はぬ一つの屍の埋められ
は美の何訪ふ人々無く徒りに雑草の
に委せしめる事でありう

五リビンゲストンに於て
我々も五日にイ入日フナートシルを
出巻車中

一版と遊し翌日ルイヌ洲リビンゲストンに着
たの古あゝが我々車中の待遇はシエール
よりフナートシルに至るまでの大同少
異なつた長かたが知れぬ我々は果物
飲料水逆給せられ
がリビンゲストンの待遇はいい好かつた
家バライツク建つた大幕生
如く雨漏りし困らざることなく
被中も毛布も格な遊り
遊りた食糧は到着時非
常な後敢て改善され
るバルボアの様なアル
ミニウムになつたが
腐銀

裏面白紙

してゐる。突口考かつた物懐は二とは遊蛇
 の棲んでゐる事であらう。我々は天部殺した
 其の中には猫半川た少四分間不死女と
 云ふ極毒の力かおれた川に林し右宿所
 には射殺備位は置いて貰ふ度いと交渉し
 たらどう作つたか。フォートシと同日なことは
 天部、此處でカ令經二通りノシマソ一を
 若く少川に取新聞雜誌が読め事購買券
 が一日十銭の割引を賜給せしめらるを以て
 貴店から日用品を買へる事等であつた
 又此處でフォートシと同日に軍人が××ンアへ
 来た時は武装してゐた。かつた物高武装し

一、おたのはバルバアだけであつた。
 尚ほ附記すべき事はバルバア、フォートシ、リロングス
 トンのシケ所、収容所共一種の自由組織か
 本米炊事當番候所並番捕内掃除番等が
 主として任事をし、米炊事であるらしい
 多くの場合はアメリカ人を志して感心させし
 める事は我々の一種の誇りである。
 (X) ニューヨーク送
 リロングストンよりニューヨーク送の護送の途次列車
 内に於ける待遇は勿体ない極である。大に
 等の旅客として扱はれ食堂の梁州を以て
 正装の食事を給せしめられた。ペンシルバ

裏面白紙

418025

と云ふ一、... 運動の出来なかつた
費帯と云ふべきであつた

此、コスタリカ國及エリ工職に在り
次、コスタリカ同胞の同國より受けたる待遇は
ついで一、... 好意を承しおけり
深遠は氣持の上では好意を承しおけり
實際はスクリートの床の上は一板の名布を
はくぞ口締しなげればなかつた然れ
その日は南米虫か少くしてゐる新屋にあ
つた又食事には豆と米許りの粗悪糧を食
の... 係連を承るの式あり

こちらが差入をさせし結果を整理へたり
諸君しくは料理を取らした事は彼等の
待遇との関係のない事であつた若し同胞が
金銀を所持しなれば少くは深養不良で衰弱し
病氣に罹るか若しくは深養不良で衰弱し
遂には死に至つたであらう
コスタリカの同胞及アルマト慈兼組員等のア
リカ軍艦工リ工職に於て受けたる待遇は
居室に關しては悉く食事共々他は就いて
は好過ぎる程であつた
即ち、... 名の一室に監禁され
寝る時は毛布を敷いた床の上で寝なければ

裏面白紙

僅か一時閑い新料を望氣に一同は鏡文
 何事か珍味を次から次と並べたりて互に
 顔を見合せ今後どうなるか出せしむ二川
 山崎の御馳走を食べた後會は絶殊にあ
 ば、兵が走り寄つて大を突いてくれば
 同僚一同は少しも力なく艦内生活と縮り
 事と希望しぬ

ハシーゴールブル婦女子部と就

シーゴールブルに於ける婦女子の待遇は聞く處と
 俄りと木ヲル任ひと云つて然るべき程度
 のわづらあつた建物に望むしは煉瓦建
 て各々が獨立の部屋を給せられ大暖房装
 置があつて寒さを感じることか無かつた
 着禁が易精口首の道と途を通つた為を長
 へて入浴する事が出来た敷存は一週間
 毎口香の山川水
 食事には各自が家庭にあつた時より中途か
 立派なものであつた子供達も充分の滋
 養食と與へられ果物菓子類も不自由を感

裏面白紙

418027

なることかたかつた
 分木つた新聞雑誌あつた爪
 口はピアノ送あつた病院の設備よく出
 産の時などは実には里り盡りの手當も
 腹に及又子供達が入居すれば玩具並貸與
 へりれば又廣い橋内自由は散歩が許さ
 ぬ獨逸人婦人達の宿舎と往來も出来若
 し教員等がある場合は何時でも出来る
 心あつた
 但し炊事室整理室掃除室等があつ
 て子供のない婦人や獨身者は帯に何等か
 の仕事に従事せねばならぬかつた然しこ
 れは婦人自身選り任ずるべきであらう
 此は婦女子に關する限り此後でもアメリ
 カ當局に感謝しては良い

SHIPPING ADVICE# 10097
 SACK # 109
 TEAM #

裏面白紙

